

新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム

平成 27 年 6 月 29 日

趣 旨：

地域社会の変容等に伴い、福祉ニーズの多様化、複雑化が生じているとともに、人口減少の中で効果的・効率的なサービス提供の必要性や人材の確保の課題が生じており、地域の福祉サービスに係る新たなシステムを構築していく必要がある。

そのため、次の3つの視点の下、新たなシステムの構築に向けたビジョンの策定とその具体化のための方策を検討する。

(ニーズに即応できる地域の福祉サービスの提供の仕組み)

サービスの対象者の多様化、抱える困難の複合化、必要な支援の複雑化が進む中、対象者の状況に即応して、ニーズの把握から支援の組み立て、提供までを一貫して行うことができるシステムを地域の実情に応じて構築する必要がある。

(サービスを効果的に提供するための生産性の向上)

人口減少に伴い、労働力人口が減少する中で、良質なサービスを効果的・効率的に提供していくためには、サービスの内容やプロセス等を改善し、生産性の向上等を図る必要がある。

(システムを担う人材の育成・確保)

人口減少が進む中で、新たなシステムを担う人材、すなわち、サービスをコーディネートする者とサービスの提供を担う者をそれぞれ育成・確保していく必要がある。

プロジェクトの構成：

1. プロジェクトチームの下に、幹事会及びワーキングチームを置き、メンバーは、別添のとおりとする。
2. プロジェクトチームの庶務は、社会・援護局地域福祉課において行う。

(別添)

[プロジェクトチームの構成員]

雇用均等・児童家庭局長

(主査) 社会・援護局長

障害保健福祉部長

老健局長

政策統括官(社会保障担当)

[幹事会構成員]

雇用均等・児童家庭局総務課長

(主幹事) 社会・援護局総務課長

障害保健福祉部企画課長

老健局総務課長

政策統括官社会保障担当参事官

雇用均等・児童家庭局保育課長

家庭福祉課長

社会・援護局保護課長

地域福祉課長

福祉基盤課長

社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長

老健局介護保険計画課長

高齢者支援課長

振興課長

老人保健課長

[ワーキングチーム構成員]

竹林 雇用均等・児童家庭局少子化対策企画室長

竹野 雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐

(リーダー) 熊木 社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室長

武内 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室長

添島 社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室室長補佐

安田 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室室長補佐

津曲 社会・援護局障害保健福祉部 地域生活支援推進室長

小泉 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課課長補佐

矢田貝 老健局 総務課企画官

水谷 老健局 認知症・虐待防止対策室長

野中 老健局 総務課課長補佐

安濟 老健局 高齢者支援課課長補佐

山田 老健局 振興課課長補佐

森 政策統括官社会保障担当参事官室企画官

野村 政策統括官社会保障担当参事官室長補佐

※検討の進捗に応じ、適宜追加する。